

令和2年度第1回沼田市総合教育会議会議録

1 開催日

令和2年9月24日（木）

2 場所

テラス沼田 庁議室

3 出席者

沼田市長 横山 公一

沼田市教育委員会

教育長 横坂 隆司

委員 飯田富美子

委員 平形 昇

委員 中村 俊生

委員 高橋 昭紀

事務局

諸田勝教育部長、北澤昇教育総務課長、角田義行学校教育課長、星野盾生涯学習課長、宮下昌文文化財保護課長、川田正樹スポーツ振興課長、鶴淵佳秀教育総務課長補佐

4 開会 午後1時20分

5 市長挨拶

6 会議録署名人の指名

市長が平形委員を指名

7 意見交換

議長：横田市長

テーマ

（1）新しい地域づくりに向けた生涯学習の在り方について

○生涯学習課長から、新しい地域づくりに向けた生涯学習の在り方について説明

◎主な意見

中村委員)

・公民館については古くなっていて、新しいものに建て替えて存続させた方が良いのではという議論があったと思うが、建て替えることはないのか。

市長)

・中央公民館については、建て替えようという話が最初にあった。しかし、膨

大な費用を要するというので、次に大規模な改修を検討した。これにも多額の費用を要することや、旧市役所の駐車場を公民館利用者が活用していたこと、テラス沼田が完成したことなどから、公民館の機能を中央公民館から他の施設へ移し、建て替えはしないこととした。

中村委員)

- ・地区の公民館については、方向性が決まっているのか。

市長)

- ・地区の公民館については決定していない。今後、各地区の集会所を含めて検討したい。

平形委員)

- ・地区公民館のコミュニティセンター化に賛成である。公民館を地域づくりの拠点とするため、振興協議会とリンクさせ市長部局に移管してはどうかと思う。

市長)

- ・公民館としての機能を充実させ、コミュニティセンター化する議論はしているが、結論は出していない。

平形委員)

- ・現在の地区公民館長は若く、地域住民に遠慮しているところがある。10年先を見据え、市長や振興協議会長と協議して地域づくりに取り組めるような仕組みの検討をお願いしたい。

飯田委員)

- ・陶芸窯など白沢地区は施設が充実していると思う。同じ沼田市の施設であるので、中央公民館の代替施設として、是非、活用していただきたい。

市長)

- ・市民共有の財産であるという意識は非常に有難い。中央公民館の陶芸窯については古くて移設できないため、テラス沼田の1階に新しいものを購入し設置する。

飯田委員)

- ・保健福祉センターや移築された旧土岐邸洋館、旧沼田貯蓄銀行などは、中央公民館のように活用できるのか。

生涯学習課長)

- ・順次、活用できるように進めているところである。

飯田委員)

- ・沼田市では自家用車による移動が多いが、高齢化が進んでいるため施設への移動がネックとなるので、施設の活用に当たり、交通手段も検討いただきたい。

市長)

- ・貴重な意見として検討したい。

(2) 地域における文化財の総合的な保存・活用について

○文化財保護課長から、地域における文化財の総合的な保存・活用について説明

◎主な意見

中村委員)

- ・文化財保護法の改正を受け、群馬県は文化財保存活用大綱を策定したとのことであるが、沼田市は市町村における地域計画の策定に取り組んでいるのか。

文化財保護課長)

- ・まだ、取り組んでいない。

飯田委員)

- ・沼田市は広大な市域の中、まつり、念仏、歌舞伎など、各地域で伝承されているものがあるので、そこに注目しPRすると良いのではないか。

文化財保護課長)

- ・文化財保護法の改正は、未指定を含めた文化財をまちづくりに活かしつつ、地域社会総がかりで、その継承に取り組んでいくことが重要であるととらえているので、貴重な意見として承りたい。

平形委員)

- ・民俗文化財が一番問題だと思う。老人の力を借りて、今、残さないと貴重な財産が無くなってしまう。ソフトとハードの両面に取り組む必要があると思う。

街なかに旧沼田貯蓄銀行など、いくつかの施設が移築等されたが、建物のメンテナンスには費用がかかるので、市長部局で一括管理してはどうか。

教育部長)

- ・市有の建物については、今年度から財政課において包括管理をスタートしたところである。文化財についても、そのまま保存することと活用することの両面があるが、上之町などは保存し活用することを考えた大正ロマンのまちづくりに取り組むものである。

文化財保護課長)

- ・民俗文化財の継承は、地域づくり人づくりであり、後継者育成を含めた人材育成が重要であると考えている。

飯田委員)

- ・子供たちが古いものに目を向けるような取組をすることによって、沼田を愛する気持ちの醸成になるのではないか。

文化財保護課長)

- ・文化財を支えるのは地元の人々であるので、子供から働き盛りの人たちが文化財に興味を持ってもらえるような取組が必要であると実感した。

高橋委員)

- ・薄根地区では、薄根かるたを作成した。かるたに併せて資料も作成し各家庭に配布した。子供たちは地元でも知らなかったことが多くあったと思うが、地元を知ることが大切なことであり、親も一緒に学ぶことができる貴重な取組であったと思う。

文化財保護課長)

- ・昨年度、生涯学習課の所管ではあるが沼田かるたを改訂した。かるたは郷土を知り文化財に親しむ活動に活用できる貴重な郷土資料である。

平形委員)

- ・文化財によるウォーキングマップがあれば、散策をするなど多方面で文化財を活用できると思う。

中村委員)

- ・保護する文化財に、昭和の文献なども入れていただきたい。地元でも貴重な資料があったので、沼田市全体となると、かなり多くの資料があると思う。

文化財保護課長)

- ・歴史資料館の活動の一つとして訪問鑑定もあるので、可能な限り資料収集に努めたい。

(3) その他

- 教育総務課長から、新学校給食センターの現在の稼働状況について説明
- 教育部長から、旧久米邸について説明

8 閉会 午後2時27分